

## 今号の読みどころ

議員団レポート…（茨城県議会、ひたちなか市議会、尾張旭市議会、栃木市議会、日立市議会） **P2~4**  
**P4** 幹事長の主張…県民市民の代表として今後の活動を展開していく  
浅野衆議院議員・国政レポート…働く世代・働く仲間の声を大きく育てよう

# 働く世代・働く仲間の声を大きく育てよう

## 浅野さとし衆議院議員 国政レポート

日立グループ議員団会長  
衆議院議員 浅野さとし



予算委員会で  
児童手当に関する予算を確認

## 統一地方選挙を終えて

4年に一度の統一地方選挙が終わりました。日立グループ議員団からは今回の選挙戦において10名の仲間が挑戦し、全員当選を果たすことができました。これはひとえに各職場の皆様の粘り強い取り組みによるものであり、心より感謝申し上げます。今後は各候補者が掲げた公約の実現に向けて邁進するとともに、日立グループ議員団も皆様のご期待に応えるべく、今後より一層の連帯を図り、議員団の総合力発揮のための取り組みを推進していきます。

## 若い世代の挑戦と躍進

また、今回の選挙全体を見渡して印象的だったのは若い世代の挑戦と躍進でした。様々な地域で20代~40代の比較的若い世代が自らの子育て体験や働く中で感じている社会の不合理な点を自ら解決しようと立候補するケースが目を集め、メディアでも多く報じられました。また、私が所属している国民民主党でも多くの新人候補が当選しました。私自身は、これは単なる偶然ではなく、現在の日本が次世代育成に注力していないことの表れだと思っています。3月31日には政府から「こども子育て加速化プ

ラン」が発表され、児童手当の所得制限撤廃などがようやく盛り込まれました。これは矢田わか子前参議院議員が5年以上の月日をかけて取組んできた成果のひとつですが、その内容はまだ十分とは言えません。

## 働く世代のさらなる政治参加のために

私は国政の中で、教育やこども医療の完全無償化、産前・産後支援拡充、そして社会人のリスクリング支援などを推進していますが、同様な声を上げている国会議員は30代~50代の方（特に女性議員）が多い印象です。長らく少子高齢化や人口減少が叫ばれているにも関わらず、若者の政治離れや議会の担い手不足、議員の高齢化が課題視されてきました。いまこそ働く世代の大きな声が必要です。私はまず、働く世代が政治にさらに積極的かつ主体的に関われるよう、投票方法の改善はもとより、議会の在り方（例えば、オンライン議会などのDXなど）についても議論を牽引していきたいと思っています。ぜひ応援してください。最後に、私が国会で取組んでいるその他の事柄についても、各種SNSを通じて日々発信していますので、ぜひご登録をお願いいたします。

# 主張

## 幹事長の主張

### 県民市民の代表として今後の活動を展開していく

日頃から日立グループ議員団および各議員へのご指導とご支援に感謝申し上げます。

## グループ議員団としての心構え

本年施行された統一地方選挙では、グループ議員団から多くの仲間が挑戦し、全員が当選の栄を勝ち取ることができました。これもひとえに所属労組・支部をはじめ、支援労組並びに地域が一体となった活動を展開した結果であり、改めてご支援に感謝を申し上げます。

また、現任期で勇退をされました先輩議員各位におかれましては、各地域における活動並びにグループ議員団の各種の

取組みに対するご協力に感謝と御礼を申し上げます。

さて、昨年7月の参議院選挙で当選された、元NHK党のガーシー議員が本年3月15日の参議院本会議で除名され議員資格を失いました。当選はされましたが、一度も議場に姿を見せず議員としての責務は何ひとつ果たされておられません。ガーシー氏に票を投じた有権者は、どう思っておられるのでしょうか。

今回当選した議員をはじめグループ議員団の仲間は、有権者の負託に応えるとともに選挙で訴えた政策やめざすべき方向性を忘れることなく、県民市民の代表として、今後の活動を展開していきたいと考えています。



日立グループ議員団幹事長

澤田 秀夫  
安来市議会（プロテリアル労組/安来支部）

## 次なる選挙に向けて

4月の統一地方選に続き、本年8月に秦野市議会議員選挙、10月にはひたちなか市議会議員選挙が施行予定となっており、グループ議員団の多くの仲間が立候補を予定しています。所属労組をはじめ、支援労組の皆様にはご苦勞をおかけしますが、全候補者の必勝に向けて万全な準備と力強いご支援をお願い致します。

## 2023年4月 統一地方選挙

### 日立市議会



助川 悟  
日立労組  
日立国分支部



高橋 央  
日立GLS労組  
多賀支部



白石 敦  
HILCS労組



堀江 紀和  
日立パワー労組



粕谷 圭  
レゾナック労組  
山崎支部



豊田 茂  
プロテリアル労組  
日立支部

### 横浜市会



坂本 勝司  
日立労組  
ソフト支部

### さいたま市議会



三神 尊志  
日立労組  
本社支部

### 尾張旭市議会



市原 誠二  
日立労組  
旭支部

### 沼津市議会



深田 昇  
明電舎労組  
沼津支部

# 当選御礼

## 退任



青木 俊一  
日立労組  
日立国分支部



伊藤 健也  
日立GLS労組  
多賀支部



川村 成一  
日立建機労組  
土浦支部

これまでの  
ご支援・ご協力に  
感謝いたします

# 議員活動レポート 日立グループ議員団所属議員の活動をご紹介します

## 県政だより



高安 博明  
茨城県議会

(日立労組/日立国分支部)

今年度の茨城県は「ポストコロナの年」と位置づけ、社会経済活動を取戻すため、「グローバルに打って出る」をキーワードに取組んでいます。

本年2月には、台湾で最大級のプロモーションを展開し、県産品や県内観光地の魅力を伝えるPRを行いました。この催しは台湾メディアにも取上げられ、多くの方々の来場や商談にも結び付いたところ。この喚起された旅行や購買意欲を、実際の来県による観光消費や県産品

台湾で開催された「いばらき大見本市」



## 『いばらき』を国内外にPRする活動を強力に展開

の購入につなげる取組みを実施し、誘客促進や県産品の輸出拡大をめざしてまいります。さらに重点市場と位置付けているタイやシンガポールのほか、新たに欧米豪などにも本県の強みであるサイクリングやゴルフ等を活用した誘客プロモーションを展開してまいります。

また今年度は、JRグループ6社と地域が一体となって実施する「 destinations キャンペーン」が、茨城県を対象に行われることから「アウトドア」や「食」、「新たな旅スタイル」をテーマに新たな茨城県の魅力を発信してまいります。皆様もこの機会に「いばらき」を訪れてはいかがでしょうか。

## 台湾でプロモーションを展開

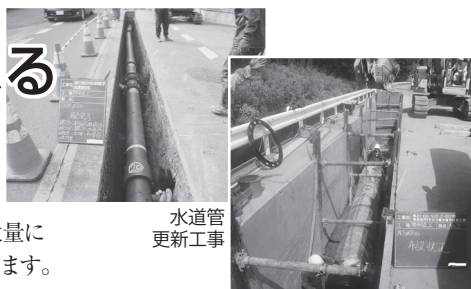
## 管路更新実施計画を策定

## 水道施設の強靱化による水の安定供給

ひたちなか市は、昭和40年代から50年代の水道事業拡張期に大量に布設された管路が更新時期を迎え、老朽化した管路が急増しています。また、地震や風水害により管路に被害が発生するなど、水道施設の強靱化・耐震化が急務となっています。

水の安定供給と持続可能な経営体質の強化のため、長期的な視点から、埋設されている配水管総延長919キロメートルについて、令和元年に管路更新の基本計画を策定し、配水管の現状把握と更新優先順位付けを行いました。

しかし、コロナ禍による社会状況の悪化に伴い、水道事業においても厳しい財政状況が予想され、さらなる更新事業費の削減と効率的・



水道管更新工事

## 市政だより



三瓶 武  
ひたちなか市議会  
(日立労組/水戸支部)

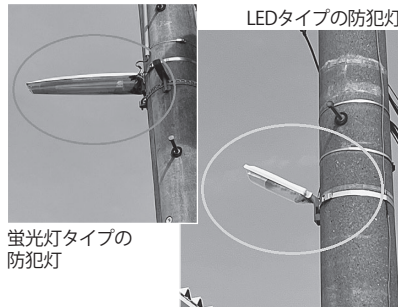
効果的な「管路更新実施計画」を令和3年に策定しました。内容は、市内の大動脈となる配水幹線と災害時に重要な施設となる避難所や病院、行政施設などに配水を担う重要給水施設配水管、その他漏水の危険度が高い配水管について、更新箇所の優先化および事業費のコストダウンを図った更新事業により、水道施設の強靱化を推進しています。日新クラブは、国の補助金活用を提言するなど、安心で安定した水道水の供給に取り組んでいきます。

## 市政だより



市原 誠二  
尾張旭市議会  
(日立労組/旭支部)

電気料金高騰の影響を受けている町内会の負担を軽減するため、防犯灯のLED化100%をめざし、支援します。尾張旭市は新たな補助制度を立ち上げ、町内会が管理する防犯灯のLED化を1年間で集中支援します。市では5年ほど前に防犯灯のLED化率は50%を超え、現在は約86%になっています。しかしながら、残っている蛍光灯タイプの防犯灯の電気代はLEDタイプに比べ高額で、町内会の財政を圧迫していま



LEDタイプの防犯灯

蛍光灯タイプの防犯灯

## 町内会管理の防犯灯LED化を推進

した。議員と自治会との意見交換会でも要望を受けており、市も支援の必要性を認め、年度を跨ぐ繰越明許費として予算計上し、スピーディに対応いただきました。さらに、この事業は工事前に補助金を交付できる概算払い補助金であり、自己資金不足の町内会でもすぐにLED化に着手できます。防犯灯のLED化100%をめざすことにより、市としては温室効果ガス削減、町内会としては財政に貢献することが期待できます。住民の要望にいち早く対応いただき、感謝しています。併せて、防犯灯の管理を住民から市へ移管する要望もあり、町内会の業務負担軽減にもつながる対応をこれからも提案していきます。

### 尾張旭市の防犯灯

防犯灯総数	5,899灯
LED灯数	5,084灯
未LED数	815灯
LED化率	86.2% (昨年末時点)
予算総額	2,400万円 (繰越明許費)

## 市政だより



小太刀 孝之  
栃木市議会  
(日立GLS労組/栃木支部)

旧1市5町の合併によってできた現在の栃木市は、旧市町が各々に整備した公共施設を一つの自治体で所有しているため、類似施設を含む多数の公共施設が存在しています。

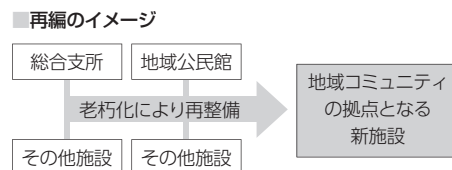
公共施設が各地域に細かく配置されていることは、便利である反面、人口規模や財政力に見合った適正な数や面積よりも多いことが、市の財政を圧迫しており、運営費や修繕費を確保し、適切な機能・性能を保つことが年々厳しい状況となっているとともに、今後その多くが本格的な大

## 地域コミュニティの拠点施設整備がスタート



拠点施設建設地

## 総合支所複合化事業を開始



規模改修や建替えの時期を迎えようとしています。そのような状況の中、平成30年に栃木市総合支所複合化基本方針を策定し、各地域の総合支所の複合化を進めようとしてきましたが、度重なる水害の発生により復興および対策事業を最優先として近年は取組んできました。水害対策事業も進み、終了時期が見えてきていることから、令和4年度により早く、都賀地域の総合支所複合化事業がスタートされました。脱炭素化の取組みとして、太陽光発電や電気自動車用充電設備等が整備された、利便性に優れた地域コミュニティの拠点として、市民の皆様にも愛される施設となるよう期待をしております。

## 日立風流物展示施設等の基本計画策定

## 日立風流物の歴史・文化を受け継ぐ

日立風流物は、2009年ユネスコ無形文化遺産に登録、その後2016年には「山・鉦・屋台行事」として再登録された本市の貴重な文化財であると同時に、世界に誇れる地域の宝となっています。日立風流物とは、操り人形を乗せたカラクリ仕掛けの山車であり、7年に一度の神峰神社大祭礼や日立さくらまつりで演目が披露されています。

日立市は、日立風流物を市民の共通の財産として、将来にわたり保存(守り)・活用(活かし)・継承(つなぐ)することを目的に、日立風流物展示施設等整備基本計画を策定しました。計画の基本理念は、これまで日立風流物が築いてきた歴史・文化を受け継ぐとともに、「まつりの

## 市政だより



日立風流物と平和通りの桜



粕谷 圭  
日立市議会  
(レゾナック労組/山崎支部)

時にだけ見るもの」から「いつでも だれでも 観らん・体験するもの」としてまいります。竣工までのスケジュールとして、収蔵施設は令和7年度、展示施設が令和9年度に供用を開始する計画が進められています。

民主クラブとしては、日立風流物の展示施設整備を契機とし、地域の伝統文化を継承すべく、引続き新たな伝承スタイルの構築に取り組んでいきます。

## 市政だより



豊田 茂  
日立市議会  
(プロテリアル労組/日立支部)



日立グローバルライフソリューションズ㈱多賀事業所の染井吉野



諏訪台桜塚三角公園の染井吉野

## 地域が選んだ「わがまちの桜23選」

を選出しました。なかでも仲町学区は、過去の日立鉾山における煙害問題を解決するきっかけとなり、本市が桜のまちの原点となった歴史を伝えるために建立された記念碑「桜塚」がある諏訪台桜塚三角公園が選出されました。また、河原子学区は、JR常陸多賀駅に隣接する日立グローバルライフソリューションズ(株)多賀事業所が選出されたほか、日高学区は、本市固有種の「日立紅葉桜」の原木が移植された、日高交流センターが名所地として選出されました。

民主クラブとしては、「わがまちの桜23選」の選出を機に、市民が桜をふるさとのシンボルとして関心や愛着をもち、それぞれの名所地の桜を次世代に残すため、市民とともに見守りや保全を行いながら、地域の活力と魅力向上に引き続き取り組んでいきます。